広報伊方町

発行人　伊方町
愛媛県西宇和郡
伊方町

編集　伊方町町民室

印刷所　尾上印刷所
八幡浜市天神通
電話(0)0071番

明治百年記念総合祝賀式

中央公民館建設など
画期的な事業推進

町内外より150人の知名有志を招き盛大に総合祝賀式

町では建国記念日にあたる二月十一日に、町内外の知名有志一五〇人を招き明治百年記念総合祝賀式が行なわれました。

総合祝賀式は昭和四十三年度に計画した主要な建設事業の完成を祝い挙行されたもので、農民の忍耐と辛苦を物語る石ソスを集めての明治百年記念公園開設、七年間の労作で町の歴史が満載されたしたのです。

伊方町誌出版、人つくりにかかる十一の、町内外の知名有志一五〇人のできない中央公民館新築、体力つくりの基盤となる九町小学校屋内体育館新築、本年度学校整備の一大事業である二見小学校校舎新築、総合農政、生活改善運動の拠点である農事センター新築これらの事業が完了（二見小学校校舎、農事センターは建設中）

特に、昭和四十三年度は明治百年を改めてから一〇〇年にあたりこうした記念すべき年に画期的な数多くの事業推進がなされたことは、町民のみなさんが町政に対するあたたかいご理解と協力の賜ものです。

式典は大本助役の開式のあいさつがあり、つづいて山本町長の式辞（内容は下記掲載）、竹場町議会議長、栗田教育委員長のあいさつのあと、それぞれの事業の完成に努められた方々に感謝状が贈呈されました。

ついで県知事、県議会議長、県教育長のお祝いのことばがあり、最後に出席者を代表して土居県議会議員の音頭で伊方町がこんごますます発展の途をたどることを願い万才三唱で幕を閉じました。

わたくしたちも、この期にあたり、百年の間に郷土の先人が築きあげた政治、経済、文化などの偉業に感謝し、そしあわせをより一層拡大し、つぎの世代をになう若人に引き継ごうという決意を新たにし、明るい町、希望のある町、発展する町つくりに町民こぞって元気いっぱい、つき進ましょう。

輝やかしい発展を誓う

町長　山本松長

ここに明治百年記念の式典を挙行するにあたり、県知事はじめ来賓多数のご臨席を賜わり、ご来内をいただしました町内各有志の方々とともに盛大な催しをいたすことができますことを心からうれしく存じますとともに厚くお礼申し上げます。

日本の過去百年の歴史は、世界史上で類をみない驚異的な飛躍と発展の歴史であり、日本近代国家としての誕生期であります。

すなわち封建制度から脱却し、驚嘆すべき勇気をもって欧米文化を吸収消化し、近代国家建設に邁進した先人の遺跡であります。その礎石は数多くの尊い犠牲の上に進められた明治維新でありましょう。

わたくしたちは、この式典を催し、つぎの百年の輝かしい発展を誓うにあたって、古い苦難の歴史を回想するのも意義深いものがあろうと存じます。

明治維新は一八三三年天保のききんによる民生の不安に端を発しわけても百姓一揆による国内騒乱に始まるといわれています。

一八五三年ペリー来航により欧米資本主義列強の実情に鎖国の夢は破れ、日米親和条約、日米修好通商条約などの締結で、ようやく新時代に目覚めて参りました。同時に一方尊王攘夷運動の展開、一八六〇年大老井伊直弼の暗殺公武合体運動の展開、皇妹和宮とつなわち幕藩体制下の地方割拠の政治、鎖国的対外政策、土地を中心とする経済、儒教的な文化がくずれてきました。

わたくしたちは郷土の自然や風土、歴史的な背景、文化的、社会的な環境の中に生れ、育まれてきたのであります。

その郷土はわたくしたちの祖先の永年にわたるたゆまぬ努力と英知の集積であり遺産であります。

この町民の宝ともいうべき先人の足跡を顧み、これを正しく継承しさらに、つぎの世代への発展を期することが今日の世代に課せられた責務であろうと考えます。

郷土の歴史のあゆみの中で、先人の偉業をしのび、輝かしい伝統を汲みとることによって今日の世代をよりよく生き、さらに新将軍家茂との結婚と政治情勢は混乱し、さらに通商条約による物価高騰は経済不安を一層高揚いたしました。

一八六二年の生麦事件、一八六三年の薩英戦争、長州藩の失格、成されてきた時代であった。日本尊攘派公家の都落ちとめまぐるしい政変がつづき、天誅組の変、天狗党の変、一八六四年、蛤御門ネルギーによる建設の歴史でありの変と大きくゆれ動いたのであります。

わたくしたちはそのあとを受け大正、昭和と特に大東亜戦争の敗戦の苦難を経て今日まで生きて参りました。

いまや内外の諸情勢は大きく転換し、我国の国際的地位は変化し、その国際的使命を果すため日本国人の偉業をしのび、輝かしい伝統を汲みとることによって今日の世代をよりよく生き、さらに新しい郷土発展への道を指向できるかと存じます。

明治百年の年にあたり編集委員諸氏はもとより、広く町民各位の協力をえて伊方町誌の発刊を見る運びに至りましたことは、まことに意義深いものがあります。

つぎに**中央公民館の落成**を多くの夢をたくし、その期待を示すために**明治百年記念公園**を開設いたしました。

その碑文に「今日の繁栄はわれらが祖先の辛苦と英知の集積であり、ゆるぎなき大地（明治）を踏まえ、父（大正）と母（昭和）に機能を発揮する公民館がなく現在に至りました。

この中央公民館の建設を契機に当町の社会教育活動が飛躍的に向上することを期待するものです。

つぎに、ただいま建設中の**農事センター**がございます。

日本の農業は再び転換期に直面いたしています。政府においては総合農政の展開によって、その対策を樹てようといたしています。

われわれは国際的な立場で日本農業の現状を理解し長期的展望に立って近代的農業経営を確立せねばなりません。

そのために本農事センターに行政的資任の機能を持たし併せて生活改善運動の拠点として充分ご利用いただけるものといたしく存じます。

つぎに**二見小学校校舎、九町小学校屋内体育館の新築**であります。

雨建物とも一早くよりの老朽化し多年にわたりその建設が要求されていました。

今回九町小学校屋内体育館は、先に立派に完成を見ました。二見小学校校舎は近く完成の予定であります。

このことは県当局のご指導と格別のご配慮により、また町議会、教育委員会の各位のご努力ならびに学校諸先生方、PTA各位のご熱意とご協力の賜ものであり、この機会に厚くお礼申し上げます。

青少年の学力向上と体位の向上のため新校舎、新体育館が果す役割は同期待なものがあることは申すまでもありません。

なお最近はスポーツはひとり青少年に限らず広く国民各層の間に着々と普及され、しかも生活に結びつきつつあることは、国民の健康保持に、また体位の向上に延いては明るい健全な社会建設に大きく寄与されていることは申すまでもありません。

九町小学校屋内体育館が町民各位に充分活用されることを併せて望むものです。

建国記念日の祝日にあたり以上の如く明治百年記念式典と併せ、昭和四十三年度の主要な建設工事の総合落成式をみなさま多数のご参列をえて盛大に祝福できますことは、特に意義深いものを感ずるわけです。こんごとも伊方町の明るい豊かな町つくりのためより一層のご協力、ご教導をお願い申し上げるしだいです。

今投げた
君のたばこが
火事のもと

保険証が四月一日より変ります

国民健康保険法施行規則によりことしの三月三十一日をもって、現在使用している保険証（橙色）は使用できなくなり、四月一日から新しい保険証（桃色）に変ります。

新しい保険証は役場より各部落へ、でむきお渡しいたしますので、指定された日時、場所においでください。（三月七日～三月三十一日）

また、保険証についての注意事項をつぎのとおりかかげました。

【注意事項】

一、新しく交付された保険証の記載事項についてのお問い合せは保険課まで申し出ください。

一、新しく交付された保険証は大切に保管し、お医者にかかるときは必ず窓口に出してください。

一、お医者にかかったときは一部負担金（三割）は、その都度窓口へ支払ってください。

また、保険証の記録はあなたの大切な健康メモとなりますので治療が終ったら記録してもらいましょう。

一、保険証の番号はあなたの世帯の世帯番号と同じです。

一、被保険者の移動は住民基本台帳と同時に処理されます。

国保被保険者のみなさんへ

十 救急クイズ (6)

耳に虫がはいった時には、どおしたらよいのでしょう。

（答は二面に掲載しています）

できた！明治百年記念公園

☆☆☆☆ 奇ばつなアイデア ☆☆☆☆
☆☆☆☆ “石うすの塔” ☆☆☆☆

明治百年記念事業の一つとして工事を進めていました記念公園が着々し施工したものです、これを先般新築なった中央公民館前に完成いたしました。

この公園は三五一㎡（一〇六坪）の敷地を有し、工事は役場職員一同が心をこめて建設にあたったもので（一部は請負工事）立派な町民憩いの場所ができあがりました。

これを記念碑には、『ゆるぎない大地（明治）を踏まえ　父（大正）と母（昭和）にはぐくまれ　愛児（未来）は、たくましく　伸びゆく』

と書きされています。

大、中、小三本の記念塔になっている石ウス三二〇個は町民のみなさんに寄贈を呼びかけ集めたもので、消えゆく生活の民具の保存を一つのねらいとし、明治百年記念塔ともなれば、その意義も大きかろうと、町ではこの一石二鳥のアイデアを生かすことに奇ばつなアイデアを生かすことに

『今日の繁栄はわれらが祖先の辛苦と英知業積である』

とさとさとされました。

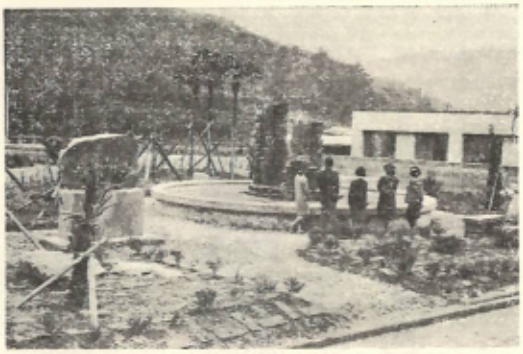
この三本の塔の意味は、池の水平）の敷地を有し、工事は役場職中央盤を明治とし一番大きい塔が父（大正）、つぎに大きい塔は母（昭和）、小さい塔が愛児（未来）からなっています。

この二つの記念碑（庵治石）のものには、国民年金に加入する手続きと、国民年金をやめる手続きがあります。

国民年金に加入する手続きのうち、二十才になった人が届けをだいれませんが、職業が変わっても切れ目なく年金制度に加入できるのも国民皆年金の大切な意義なのです。

また、時効がよくなってきますと、結婚シーズンに入ります。さらに四月になりますと、転勤などで人の異動が多くなってきます。

この自身のことはもちろん、ご家族の国民年金の加入者で、住所や名前が変わった人は、新しい住所地の市町村役場か、町内の年金委員さんにご連絡ください。



祖先の英知と辛苦の石ウスを集積して　開設された明治百年記念公園

国民年金の手続きをお忘れなく

国民年金にはいろいろの手続きがあります。

大きくわけますと、国民年金の加入資格に関するもの、住所や名前が変わったときのもの、保険料に関するものなどがあります。

このなかで、加入資格に関する手続きなどに何かとご迷惑をおかけすることになりますので、このような人は、必ず役場か、保険料を集めています年金委員さんにお知らせください。

一度に二つの年金制度には、はいれませんが、職業が変わっても切れ目なく年金制度に加入できるのも国民皆年金の大切な意義なのです。

また、時効がよくなってきますと、結婚シーズンに入ります。さらに四月になりますと、転勤などで人の異動が多くなってきます。

この自身のことはもちろん、ご家族の国民年金の加入者で、住所や名前が変わった人は、新しい住所地の市町村役場か、町内の年金委員さんにご連絡ください。

会社や工場で働いていた間に掛けた厚生年金などの加入期間が生かせなくなり、将来、とりとったときの老令年金が受けられなくなるばかりか、思わぬ事故や病気をしても、年金がもらうことができません。

逆に、国民年金加入者が就職して、厚生年金などに加入しますと国民年金をやめなければなりません。そのまま保険料を納めますとあとで返さなければなります、手続きなどに何かとご迷惑をおかけすることになりますので、このような人は、必ず役場か、保険料を集めています年金委員さんにお知らせください。

一度に二つの年金制度には、はいれませんが、職業が変わっても切れ目なく年金制度に加入できるのも国民皆年金の大切な意義なのです。

また、時効がよくなってきますと、結婚シーズンに入ります。さらに四月になりますと、転勤などで人の異動が多くなってきます。

この自身のことはもちろん、ご家族の国民年金の加入者で、住所や名前が変わった人は、新しい住所地の市町村役場か、町内の年金委員さんにご連絡ください。

固定資産課税台帳の縦覧

期間　三月一日～三月二十日

固定資産（土地、家屋、償却資産）課税台帳をつぎのとおり縦覧に供しますから土地、家屋、償却資産の所有者及び関係者は、おくれな期間中に役場税務課で縦覧されるようお知らせします。

三月は空気が乾燥し火災の発生が多くなります。
火のもとは充分に点検し床に入りましょう。

ものしり手帳

鼻毛

人間の鼻のまん中にデンとぶらさがっている鼻。

おとなの一日の息は平均五〇〇㏄、一分間に八～九リットル、一時間でドラムカン三本分、一昼夜で三俵の開いっぱい分の空気を吸い込みます。

その鼻の穴の入口で砂速二メートルの風に耐えて、とおせんぼをしているのが鼻毛です。

鼻毛はエア・フイルターとして長くて密生しているがいい、鼻の穴からはみ出しているのはあまり見ばえのするものではありません。

だからといって鼻毛を引き抜くとあとに細菌がはいりこみ、化のうする場合が多いですから、ミツトモないときには先のまるいハサミで切落しましょう。

十 救急クイズ (6)

(答)

☆電灯を近づけて、耳を明るいほうに向けると虫がでてきます。また、たばこの煙を吹きこむとでてきます。それでもでないときは、油類（オリーブ油など）を二、三滴耳のなかへたらしこむと、虫はやがて死んでしまいます。それからお耳鼻科医にとりだしてもらうとよいでしょう。

☆耳かきなどでほじると、かえって奥へ追いやるので、いじらないほうが安全です。

駐在所だより

学年末の

少年非行を防ごう!!

学年末は少年たちにとって卒業進学、就職に心身ともにあわただしい時期ですが、反面には卒業の日から入学、就職の日までは空白状態が続くことになります。

この時期には少年に対する家庭での指導が特に必要です。

みんなであたたかい愛情に深い理解をもって、少年たちを正しく導いてやりましょう。

◎学年末には、子どもたちの気持が、いちばん動揺するときです。こんなときこそ、みんなであたたかく見守ってやりましょう。

◎進学や、就職にあたって子どもに実力以上の期待をかけるのは危険です。

子どもの能力に応じた道にすすませるようにしましょう。

◎学年末の気持の動揺しやすいときには、ちょっとした気持の動揺が不良化するものです。家中であたたかく見守ってやるとともに、節度ある規則正しい生活をさせましょう。

Aおわび∨

先月号（第一〇四号）広報の一面で昭和四十二年度一般会計決算報告の入ったお金の構成（円グラフ）のうち「支出目的がきまっている財源」と掲載しましたが「支出目的がきまっていない財源」のあやまりにつき訂正しおわびいたします。

伊方町誌を発売中

一部一、五〇〇円

希望者は早目にどうぞ

伊方町誌の発刊については、先月号広報で紹介いたしましたが、さっそく町内外の方々から注文が殺到し大きな反響をよび好評を博いて愛読されています。

郷土の歴史を知ろうそれ家庭には、ぜひほしい副読本です。

また、一般の方で希望される人は現在、発売中です。

早目に役場総務課まで申し出てください。一部一、五〇〇円です。

編集後記

本紙が入選

県下広報コンクール

県下広報コンクールがことしもおこなわれ、広報紙の部で本紙が入選にえらばれました。

これは、日治体広報活動のよりいっそうの発展を目的に毎年おこなわれているものです。

広報紙は町民の方々に広く町政を知っていただくとともに、町政に対するご理解とご協力を願い自治行政に関心を深めていただくということが目的であります。

こんども町政と町民を結ぶ一つのパイプ的な役目を果すため、さらに努力し、みなさんに親しみのもてる紙面に育てていきたいと思います。

何分のご協力をお願い申し上げます。

（Y・O）

人

昭和44年1月末現在　世帯数　2,459戸　人口　9,866人（男　4,738人　女　5,128人）

婚姻

昭和44年1月1日～1月31日

出生

昭和44年1月1日～1月31日

死亡

昭和44年1月1日～1月31日